

支部の活動・会員の活動・交流の場

支部HP <http://www.kenchiku-ichikawa-urayasu.com/>

■新入会員の紹介

—— 会員 —— 準会員（※建築に関する業務に精通している技術者及び建築に興味があり学ぼうとしている者。）



丹内 和典

株式会社マルソクの丹内と申します。『動画制作』や『出張ライブ配信』、『3D 測量』、鉄道を主とした『工事測量』を事業としております。建築士会の情報発信や他業種との連携などで発展に貢献していきます。よろしくお願い致します。



恩田 純二

株式会社建築資料研究社（日建学院）の船橋支店に勤務しています。勉強会など参加させていただき、建築の知識を身につけたいと思っています。よろしくお願い致します。

■会員勉強会報告

※毎月支部会員が講師となり支部会員の為となる情報共有の場
※今回の2つはコロナ禍にあって、特別版として罹災証明の情報共有会と外部講師によるモノ

○日時：2020年1月10日（金）20：00～21：00 ○会場：市川市中央公民館第一会議室

「台風被害の状況と対策」 堀川成良氏

2019年9月10日に立て続けに千葉県を襲った台風15号、19号、千葉県豪雨の被害状況及び罹災証明調査業務について、資料と写真を元に情報共有。たまたま出張で現場に立ち寄ったという千曲川堤防決壊箇所の現状も。更に台風による瓦屋根の被害が大きいと報道されているものの、正しい施工方法にて施工されたモノについては被害がほとんど無いという全日本瓦工事業連盟の情報等も含め、台風に関連するネタを提供してもらい、質疑や雑談で参加者が持つ様々な情報が共有される有意義な時間となった。



○日時：2020年2月14日（金）20：00～21：00 ○会場：市川市中央公民館第一会議室

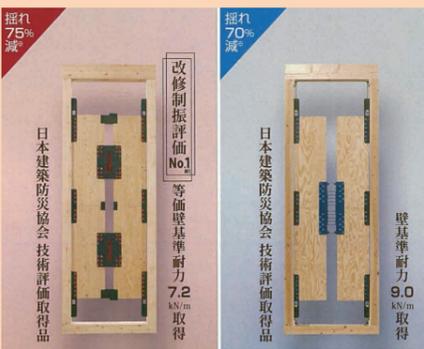
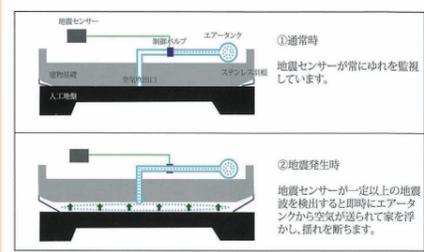
「断震と制震」 株式会社三誠 AIR 断震 稲葉 欣司氏 株式会社住宅構造研究所 久家 幸夫氏

地震から建物を守る方策として、2つのメーカーの担当者さんにお越しいただきました。まず「断震」として株式会社三誠 AIR 断震さんによる地震を感知し、ベタ基礎を二重にしたスラブの間に瞬時に空気を入れる事で地震力を上部建物に伝えないエア断震という画期的な構造。阪神大震災クラスの地震でウィングラスも倒れないとのこと。

次に「制振」として株式会社住宅構造研究所さんによる、粘弾性耐をダンパーとして用いる事で、自身の力を吸収し抑制する「ガーディアン・フォース」という制振金物について解説していただき、新築やリフォームそれぞれに対し必要に応じたタイプがあること、壁倍率の大臣認定が取れていることなどを紹介。いずれも大変興味深い内容であった。



エア断震システムのしくみ



■「建築士の日記念事業 with 市川工業高校」報告 ■ 堀川成良

○日時：2021年7月18日（日）10：00～16：00 ○会場：ニッケコルトンプラザ タワーコート

新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年中止となり、今年もまだ終息しない状況下において、中止とすべきか理事会でも検討を重ねました。その結果、いつまでも自粛するだけでなくやれることをやりましょうとの判断から、今年はワークショップは開催せず、これまで同様に市川工業高校との共同開催にて模型や図面等の課題展示ブースと、建築士会側は「これまでの開催を写真にて振り返るパネル」及び「コロナ禍における空間的な工夫と建築士の仕事パネル」の展示、また住宅相談会はコルトンプラザの規定に基づき出来る限りの対策をした上で1組ずつにて対応。更にワークショップの代わりとして、「おうちで作る折り紙建築」を製作し、無料配布しました。

折り紙建築はコルトンプラザの入口階段をデフォルメしたモノを用意しましたが、子供にはやや難易度が高いため、簡易バージョンも用意し、それぞれ200セットがほぼ持ち帰ってもらう結果に。住宅相談は積極的に声掛けはしてませんが4組の方の相談がありました。

今回は控えめの開催ではありましたが、現状やれる限りのイベント開催を市川工業高校と一緒にやれたこと、また重ねてきたことの振り返りが出来たことの価値は充分にあったと思います。来年はまたワークショップも含めた開催が出来ることを期待しています。



■「支部勉強会オンライン写真旅&納涼会」開催報告 ■ 小森 健一朗

令和3年8月9日（月）祝日に市川浦安支部の事業委員主催で「オンライン写真旅&納涼会」開催しました。コロナ禍でなかなか会員が集まってイベントが出来ない中オンライン（ZOOM）で紹介者4名が過去に行った素敵な場所を写真で紹介するという企画です。

1番目に堀川成良氏の「アートな島への旅」は2008年に香川県の直島へ行った時の写真で、ベネッセと安藤忠雄氏が組んで島全体をアートにしようと企画したそうです。後半は堀川氏が風景とか食べたもののスケッチを紹介。写真で残すよりもだんぜん記憶に残っておススメの方法との事でした。余談として、数日後に来た台風9号で直島のシンボルアート黄色のカボチャが流されたというタイムリーなニュースがありました。もう見れなくなってしまっただけ残念ですがとても貴重な写真ですね。

2番目に麻生英之氏「カルロ・スカルパを巡るイタリア」は3年前にカルロ・スカルパの代表作があるイタリアのヴェローナへ行った時の写真を紹介します。お城を美術館にしたカステルヴェッキオ美術館は石の使い方が繊細で素晴らしいです。もう一つはサンマルコ広場にあるオリベッティのタイプライターショールームを見学した時の写真。日本では木とか紙の文化だがイタリアは石と鉄の文化の違いがあって建物や街並みが素敵でした。

3番目に山中一郎氏の「旅と少しの偶然」偶然の織り成す写真を紹介。最初に今は焼失してしまってもう見れなくなってしまった首里城の正殿。書院や世界文化遺産に登録されている基壇。行ったのは7月で3箇月後に焼失したようです。その他、遠州手筒花火、弓道会館、羽田 JAL 格納庫など普段見れない写真、偶然撮れた富津の自衛隊潜水艦、富津から見た富士山と鳶、富士山の傘雲、袋田の滝、日本最長のつり橋の竜神大橋、福井県永平寺、230枚の絵天井の間、最後は月面Xでした。どれもめったに見れない凄い写真でした。感想で知りましたが島田支部長の三原山噴火する3日前に火口に行ったエピソードも凄いですね。

4番目に穂高明日香氏の「ポートレートの世界」普段は人物写真を主に撮っていますが、今回は写真のピフォーアフターを見ながら比べてみましょうと言う事でSNSに載せたりしているモデルさんの写真を使って加工の仕方やキレイに撮れるコツを教えてくださいました。今回使用したカメラはFUJIFILM ミラーレスのX-T2、X-T3との事。作品感がでる撮り方や意外と高架下の駐輪場は意外と光の入り方が良い、汚れたガラス越しに取ると意外と良い感じになるそうです。見比べるとやはり全然違いました。他にも斜めに写すと写真に動きが出る、周囲を白く飛ばすとファンワリ感がでる。など色々勉強になりました。最後に穂高さんより、女性は寝かせて逆から撮るとキレイに撮れるので、是非奥さんをキレイに撮ってあげましょうとのアドバイス。写真の最後に出てきた穂高さんの甥っ子さんもとても可愛かったです。

その後は引き続き納涼会で、各自飲み準備して写真旅の感想や雑談で締めくくりました。今後は好評だったので第二弾、第三弾も企画していきたいですね。

